

4. 運転するとき

● エンジン始動

エンジンスイッチの各位置のはたらき	4-2
エンジンイモビライザー	4-3
プッシュエンジンスターター	4-4
エンジンのかけかた	4-8

● パーキングブレーキ

パーキングブレーキの操作	4-13
--------------	------

● オートマチック車

セレクトレバーの操作	4-15
オートマチック車の特性	4-18
オートマチック車を運転するとき	4-19
オートマチック車の運転のしかた	4-20

● ABS

ABS装備車の取扱い	4-24
------------	------

● 運転補助機能

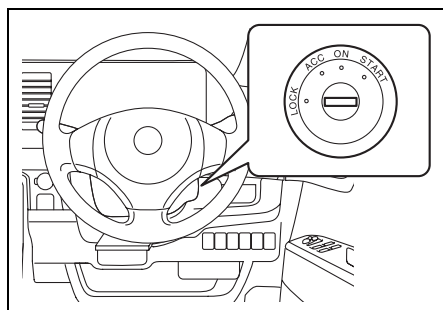
タイヤ空気圧警報システム	4-27
--------------	------

安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、SRSエアバッグシステム、ABS（アンチロックブレーキシステム）などの安全装備も、乗員の安全確保には限界がありません。法定速度を厳守するとともに、スピードを控えめに安全運転に心がけてください。

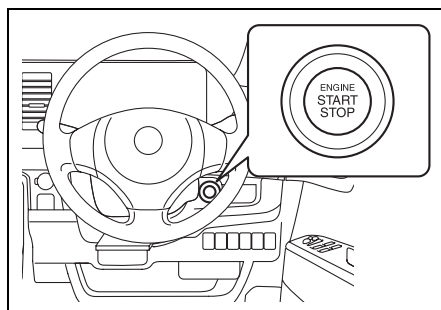
エンジンスイッチの各位置のはたらき

プッシュエンジンスターター非装備車



50M0072

プッシュエンジンスターター装備車



50M0073


4

位置	エンジンの状態	プッシュエンジンスターター非装備車	プッシュエンジンスターター装備車
LOCK (OFF)	停止	駐車するとき、キーを抜き差しするときの位置です。キーを抜くと、ハンドルロックがかかります。	駐車するときの位置です。エンジンスイッチを LOCK (OFF) にもどすと、ハンドルロックがかかります。
ACC	停止	エンジンをかけずにオーディオやドアミラー、電源ソケットなどの電装品（タイプ別装備）を使用するときの位置です。	エンジンをかけずにオーディオやドアミラー、電源ソケットなどの電装品（タイプ別装備）を使用するときの位置です。メーター内の ACC 表示灯が点灯します。
ON	停止	エンジンをかけずにパワーウィンドーやワイパーなどの電装品を使用するときの位置です。	エンジンをかけずにパワーウィンドーやワイパーなどの電装品を使用するときの位置です。メーター内の IG ON 表示灯などが点灯します。
	回転中	すべての電装品が使えます。通常運転中の状態です。	すべての電装品が使えます。通常運転中の状態です。IG ON 表示灯は点灯しません。
START	始動	エンジンをかけるとき、始動したらキーから手をはなしてください。キーは自動的に ON にもどります。	携帯リモコンを所持してセレクターを P にし、ブレーキを踏んでエンジンスイッチを押すと、自動的に始動します。

▲注意

エンジンを止めているときは、エンジンスイッチを **ACC** または **ON** にしたままにしないでください。また、その状態で長時間ラジオ（タイプ別装備）などを聞かないでください。バッテリーあがりの原因となります。

Ⓜ️アドバイス

- ハンドルロックは通常、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) から **ACC** または **ON** にしたときに解除されます。
- プッシュエンジンスターター装備車の場合、強い電波やノイズの影響を受けると、メーター内のプッシュ表示灯  が点滅して、電源の切替えやエンジンの始動ができない場合があります。

ハンドルロックが解除できないときは

ハンドルの負荷などが原因として考えられます。ハンドルを左または右にまわして負荷がかからない状態としながら、エンジンスイッチの操作をやり直してください。

エンジンイモビライザー

**プッシュエンジンスターター
非装備車**

エンジンイモビライザーは盗難防止のため、キーが電波で車両と通信することによって、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できないようにするシステムです。

Ⓜ️アドバイス

- 次のような場合は、キーからの信号を車両が正確に受信できず、エンジンの始動ができないことがあります。
- キーグリップが金属製のものと接触しているとき
 - キーが他のキーと近いときや重なっているとき
→ **3-2ページ (キー)**

**■ エンジンイモビライザー
警告灯**



64L30690

メーターパネル内にあります。

→ **3-57ページ**

(警告灯・表示灯の見かた)

- エンジンの始動が可能な場合は、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯します。点滅すると、エンジンの始動ができません。
- 点滅した場合は、一度エンジンスイッチをもどして、再度エンジンスイッチを **ON** にしてください。それでも点滅する場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社にご連絡ください。

プッシュエンジンスターター 装備車

エンジンイモビライザーは盗難防止のため、携帯リモコンが電波で車両と通信することによって、あらかじめ登録されたリモコン以外ではエンジンを始動できないようにするシステムです。

■ エンジンイモビライザー 警告灯



64L30690

メーターパネル内にあります。

→ **3-57ページ**

(警告灯・表示灯の見かた)

- エンジンの始動が可能な場合は、エンジンをかけるときに、約2秒間点灯したあと消灯します。点滅すると、エンジンの始動ができません。
→ **4-10ページ** (プッシュ表示灯が点滅してエンジンがかからないときは)
- 携帯リモコン車外持ち出し警告が作動したときにも点滅します。
→ **4-7ページ** (携帯リモコン車外持ち出し警告)

⚠️ アドバイス

エンジンをかけるときに、点滅または約5秒間点灯すると、エンジンがかからない場合があります。携帯リモコンの場所を確認し、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしてから、操作をやりなおしてください。

プッシュエンジン スターター

タイプ別装備

所持している携帯リモコンが「**車内の作動範囲**」(4-8ページ参照)に入っていると、エンジンスイッチによる始動および電源の切替えが可能となります。また、その他に次の機能があります。

- リモートコントロールエントリーシステム
→ **3-9ページ** (リモートコントロールエントリーシステム)
- リクエストスイッチによるドアの施錠・解錠
→ **3-12ページ** (携帯リモコン)
- エンジンイモビライザー (車両盗難防止装置)
→ **4-3ページ**
(エンジンイモビライザー)

ACC表示灯

82K097

メーターパネル内にあります。

- エンジンスイッチが **ACC** 位置にあると点灯します。
→ **3-57ページ**
(警告灯・表示灯の見かた)
- **4-5ページ**
(電源の切替えのしかた)

IG ON表示灯



82K098

メーターパネル内にあります。

- エンジン停止状態で、エンジンスイッチが **ON** 位置にあると点灯します。
→ **3-57ページ**
(警告灯・表示灯の見かた)
- **4-5ページ**
(電源の切替えのしかた)

プッシュ表示灯



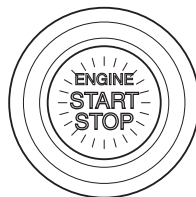
82K174

メーターパネル内にあります。

- ブレーキペダルを踏んで点灯したときは、通常エンジンの始動が可能です。ただし、始動できず点滅したときは、**4-10 ページの「プッシュ表示灯が点滅してエンジンがかからないときは」**をお読みください。
- ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押して点滅したときは、**4-6 ページの「プッシュ表示灯が点滅して電源が切り替わらないときは」**をお読みください。

エンジンスイッチ照明

- 運転席ドアを開けると点灯します。
- 運転席ドアを閉めると約 15 秒間点灯し、徐々に減光しながら消灯します。



82K253

4

ⓘ アドバイス

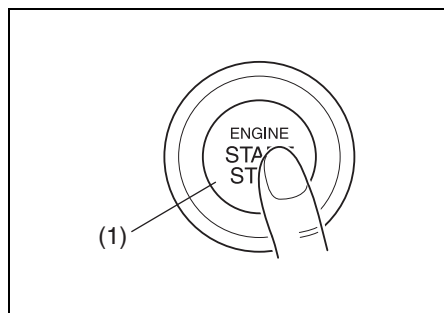
バッテリー保護のため、運転席ドアを閉め忘れて点灯させたままにしても、約15分が経過すると自動的に消灯します。(バッテリーセーバー機能)

電源の切替えのしかた

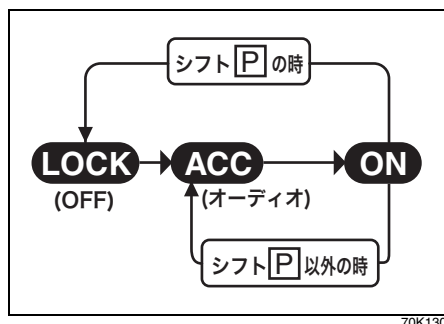
エンジンをかけずに電装品の使用やメーターの確認をしたいときは、次のようにしてエンジンスイッチの位置を切り替えます。
なお、この切り替えのことを「**電源の切替え**」といいます。

運転するときは/エンジン始動

- 1 携帯リモコンを所持して運転席に座ります。
- 2 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ (1) を押します。




- 押すごとに次のようにエンジンスイッチの位置が切り替わります。




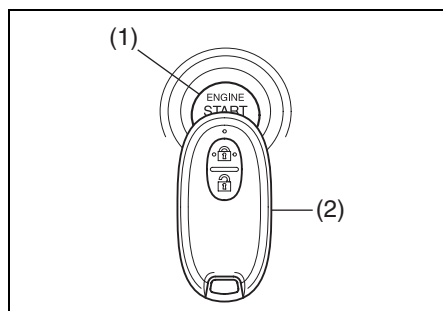
⚠️ アドバイス

- セレクトレバーが **P** 以外の位置にあると、**LOCK** (OFF) にはもどけません。
- ハンドルロックの故障などで、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどせないことがあります。
→ 4-12 ページ (エンジンスイッチをもどすときは)


■ プッシュ表示灯 が点滅して電源が切り替わらないときは

携帯リモコンが「車内の作動範囲」(4-8 ページ参照) で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、メーター内のプッシュ表示灯  の消灯後、操作をやり直してください。それでも切り替わらないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順で切り替えてください。

- 1 ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチ (1) を押します。
- 2 メーター内のプッシュ表示灯  が点滅している約 10 秒以内に、携帯リモコン (2) の先端 (ロックスイッチ側) をエンジンスイッチに約 2 秒間あてます。



⚠️ アドバイス

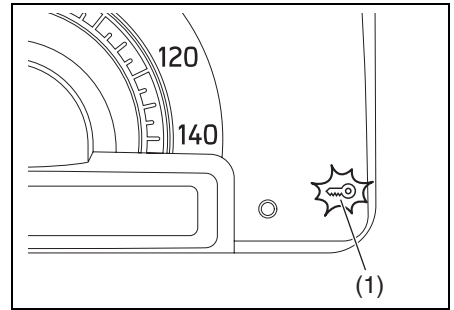
- 前記の手順を何度繰り返しても切り替わらないときは、バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。日産販売会社にご連絡ください。
- プッシュ表示灯  の点滅中に、エンジンイモビライザー警告灯が約 5 秒間点灯します。

- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、日産販売会社にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、メーター内の携帯リモコン電池消耗警告灯が約15秒間点灯します。電池を交換してください。
 - 3-13ページ
（携帯リモコン電池消耗警告灯）
 - 6-6ページ
（リモコンキーの電池交換）

携帯リモコン車外持ち出し警告

次のような場合、室内/車外ブザーが約2秒間断続的に鳴るとともに、メーター内のエンジンイモビライザー警告灯が点滅し、携帯リモコンの車外持ち出しを警告します。

- エンジン回転中、またはエンジンスイッチが **ACC** または **ON** 位置にある状態で、いずれかのドアを開け、そのあとすべてのドアを閉めたときに携帯リモコンが車内がない場合
- エンジンスイッチが **ACC** または **ON** 位置にある状態で、エンジンをかけようとしたときに携帯リモコンが車内がない場合



50M0074

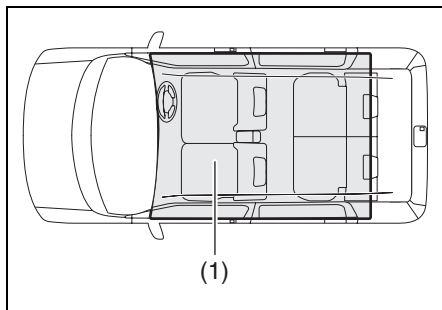
(1) エンジンイモビライザー警告灯(点滅)

アドバイス

- 警告が作動したときは、すみやかに携帯リモコンの場所を確認してください。
- 警告の作動中は、エンジンの再始動ができません。
- エンジンイモビライザー警告灯の点滅は、通常、携帯リモコンが車内にもどってきてから少しすると消灯します。消灯しない場合は、一度エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしてから再操作してください。
- 携帯リモコンは運転者が所持し、管理してください。

エンジン始動/電源切替え/ 携帯リモコン車外持ち出し警告の作動範囲 (車内)

「車内の作動範囲」(1)は、インパネの上や荷室などを除く車室内です。



4

⚠️ アドバイス

- 「車内の作動範囲」に携帯リモコンがあっても、次のような状況にあるとリモコンが検知されず、エンジン始動や電源切替えができない場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動する場合があります。
 - 携帯リモコンの電池が消耗している
 - 携帯リモコンが強い電波やノイズの影響を受けている
 - 携帯リモコンが金属製のものと接していたり、覆われたりしている
 - 携帯リモコンが次のような小物入れの中にある
 - ・インパネのトレイやボックス
 - ・グローブボックス
 - ・ドアポケット
 - 携帯リモコンがメーターパネルの手前やサンバイザー、床にある

● 「車内の作動範囲」に携帯リモコンがなくても、次のような状況にあるとリモコンが検知され、エンジン始動や電源切替えができる場合があります。また、携帯リモコン車外持ち出し警告が作動しない場合があります。

- 車外に携帯リモコンがあっても、ドアに近づきすぎている
- 携帯リモコンがインパネの上や荷室にある

エンジンのかけかた

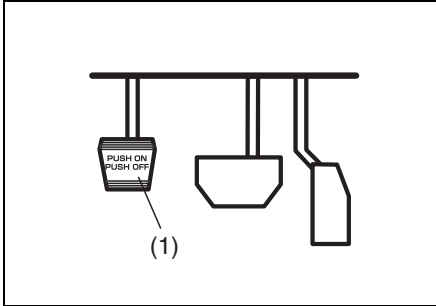
2-10 ページの「エンジンをかけるときは」もあわせてお読みください。

⚠️ アドバイス

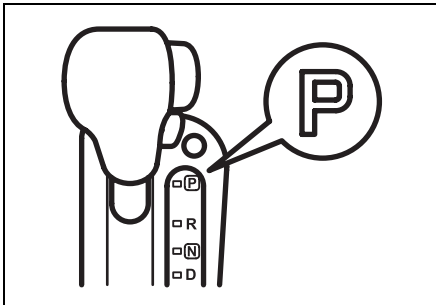
- エンジンをかけるときは、アクセルペダルを踏まないでください。
- ヘッドランプやエアコンなどのスイッチを切った方が、エンジンはかかりやすくなります。
- ハンドルロックが解除できなくて、エンジンの始動ができない場合があります。
→ 4-3 ページ (ハンドルロックが解除できないときは)

プッシュエンジンスターター 非装備車

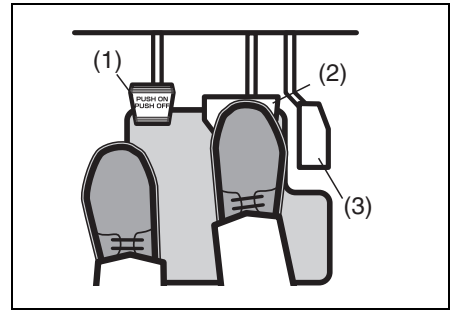
- 1 パーキングブレーキ (1) がしっかりかかっていることを確認します。



- 2 セレクトレバーが **P** になっていることを確認します。

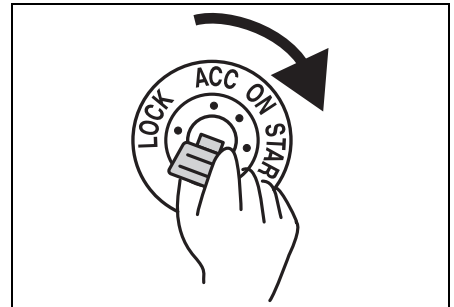


- 3 右足でブレーキペダル (2) をしっかり踏み続けます。



- (3) アクセルペダル

- 4 キーを **START** までまわします。




- エンジンがかかったら、すみやかにキーから手をはなします。

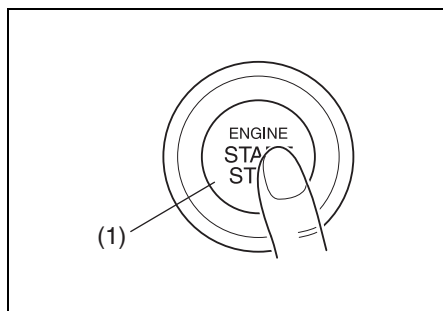
アドバイス

- バッテリー保護のため、キーを **START** にまわした状態を 8 秒以上続けしないでください。エンジンがかからないときは、キーを一度 **ACC** にもどし、10 秒以上待ってから再びかけてください。
- 前記の手順を何度繰り返してもエンジンがかからないときは、バッテリーあがりなどの原因が考えられます。日産販売会社にご連絡ください。

プッシュエンジンスターター 装備車

①、②、③は、プッシュエンジンスターター非装備車と同じ操作です。

④ メーター内のプッシュ表示灯  が点灯したら、エンジンスイッチ (1) を押します。エンジンがかかったら、スターターは自動的に停止します。




82K254


⚠️ アドバイス


エンジンがかからなくても、スターターはしばらくすると自動的に停止します。自動停止後またはシステム異常時は、エンジンスイッチを押している間だけ、スターターがまわります。

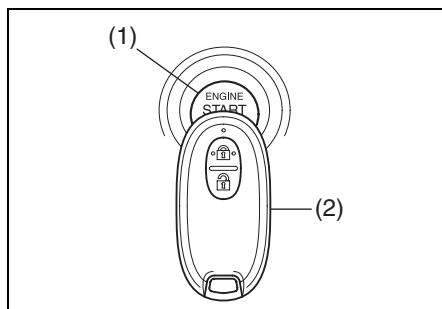
■ プッシュ表示灯 が点滅してエンジンがかからないときは

携帯リモコンが「車内の作動範囲」(4-8 ページ参照) で検知されていないことが考えられます。運転者は携帯リモコンを身につけ、メーター内のプッシュ表示灯  の消灯後、操作をやり直してください。それでもエンジンがかからないときは、携帯リモコンの電池切れのおそれがあります。次の手順を行なってください。

① セレクトレバーが **P** にあることを再確認し、ブレーキペダルをしっかり踏み続けます。


② メーター内のプッシュ表示灯  が点灯したら、エンジンスイッチ (1) を押します。

③ メーター内のプッシュ表示灯  が点滅している約 10 秒以内に、携帯リモコン (2) の先端 (ロックスイッチ側) をエンジンスイッチに約 2 秒間あてます。



64L40030

📌 アドバイス

- 前記の手順を何度繰り返してもエンジンがかからないときは、バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。日産販売会社にご連絡ください。
- プッシュ表示灯  の点滅中に、エンジンイモビライザー警告灯が約5秒間点灯します。
- 設定の切替え（カスタマイズ）をすると、携帯リモコン検出範囲外警告ブザー（室内ブザー）を1回鳴らすことができます。設定の切替えについては、日産販売会社にご相談ください。
- 携帯リモコンの電池切れが近いと、エンジンスイッチを **ON** にしたときに、メーター内の携帯リモコン電池消耗警告灯が約15秒間点灯します。電池を交換してください。
 - **3-13ページ**
(携帯リモコン電池消耗警告灯)
 - **6-6ページ**
(リモコンキーの電池交換)

エンジン止めるときは

 警告

- 緊急時以外は、走行中にエンジンを止めないでください。
- ブレーキ倍力装置が働かないため、ブレーキペダルを踏むときに強い力が必要になります。
 - パワーステアリング装置が働かないため、ハンドルが重くなります。
 - ABSが作動しません。

 注意

走行中にエンジンを止めると、オートマチックトランスミッションが損傷するおそれがあります。

■ プッシュエンジンスターター非装備車

エンジンスイッチを **ACC** にもどします。

■ プッシュエンジンスターター装備車

車両の状態	エンジン停止方法
停車中	エンジンスイッチを押す
走行中 (緊急時)	エンジンスイッチを3秒以上長押しする

- 停車中にエンジンを停止できないときは、エンジンスイッチを3秒以上長押ししてください。この場合、システムの異常が考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。

キーを抜くときは

プッシュエンジンスターター非装備車

- 1 セレクトレバーを **[P]** 位置に入れ、セレクトレバーのボタンから手をはなします。
→ 4-15ページ
(セレクトレバーの操作)

- 2 キーを **[LOCK]** (OFF) にもどしてキーを抜きます。

- キーを抜くと、ハンドルロックがかかります。
- 誤操作防止のため、次の条件をみたしているときだけキーが抜けます。
 - セレクトレバーが **[P]** 位置
 - セレクトレバーのボタンから手をはなしている

→ 4-19ページ

(キーインターロック)

→ 4-23ページ (駐車)

■ キー抜き忘れ警告ブザー

キーの抜き忘れを防止するためのブザーです。

- キーを **[ACC]** または **[LOCK]** (OFF) にしたまま運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。
- キーを抜くと、室内ブザーが止まります。

エンジンスイッチをもどすときは

プッシュエンジンスターター装備車

- 1 セレクトレバーを **[P]** 位置に入れ、セレクトレバーのボタンから手をはなします。
→ 4-15ページ
(セレクトレバーの操作)

- 2 エンジンスイッチを **[LOCK]** (OFF) にもどします。

- エンジンスイッチを **[LOCK]** (OFF) にもどすと、ハンドルロックがかかります。
- 誤作動防止のため、次の条件をみたしているときだけエンジンスイッチを **[LOCK]** (OFF) にもどせます。
 - セレクトレバーが **[P]** 位置
 - セレクトレバーのボタンから手をはなしている

→ 4-23ページ (駐車)

- ハンドルロックの故障などで、エンジンスイッチを **[LOCK]** (OFF) にもどせないことがあります。日産販売会社で点検を受けてください。なお、点検前には次の作業をしてください。

- 盗難を防ぐため、キー操作にてドアを施錠してください。(リクエストスイッチやリモートコントロールエントリーシステムでは施錠できません)
- バッテリーあがりを防ぐため、バッテリーのマイナス端子を外してください。(10mmスパナなどの市販工具が必要です)

📌アドバイス

次のようなときは、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどせません。

- セレクトレバーの位置が **P** 以外
- セレクトレバーの位置が **P** にあっても、セレクトレバーのボタンを押しているとき

■ エンジンスイッチもどし忘れ警告ブザー

エンジンスイッチのもどし忘れを防止するためのブザーです。

- エンジンスイッチを **ACC** にしたまま運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピー、ピー、”と断続的に鳴ります。
- セレクトレバーを **P** 位置に入れ、セレクトレバーのボタンから手をはなします。エンジンスイッチを2回押して **LOCK** (OFF) にもどすと、室内ブザーが止まります。

📌アドバイス

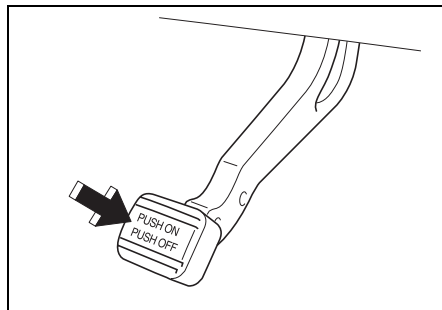
少しの間でも車から離れるときは盗難防止のためエンジンを停止し、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にもどしたことを確認して、ドアを施錠してください。 **LOCK** (OFF) にもどさないと、リクエストスイッチや携帯リモコンでドアが施錠できません。

■ ハンドルロック未作動警告ブザー

故障などで、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にしてもハンドルがロックされない場合、運転席ドアを開けると、室内ブザーが“ピッ、ピッ、”と断続的に鳴ります。日産販売会社で点検を受けてください。

パーキングブレーキの操作

パーキングブレーキは後輪にかかります。駐車するときはパーキングブレーキをしっかりとかけてください。



駐車するときは

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。

⚠️ 警告

- 走行中は、パーキングブレーキペダルを踏まないでください。急ブレーキをかけた状態になり、事故を起こすおそれがあります。
- 走行中は、パーキングブレーキペダルに足をのせないでください。カーブを曲がる時などに足に力がかかり、踏み込んでしまうおそれがあります。

▲ 注意

- パーキングブレーキをかけるときは、確実にブレーキが効くまで一気に踏み込んでください。
- パーキングブレーキの効きを強くしようとして、2度踏みをししないでください。2度踏みをする、ペダルがもどってパーキングブレーキが解除されます。

↓mアドバイス

パーキングブレーキをさらに強く効かせたいときは、次のようにしてください。

- 右足でブレーキペダルを強く踏んだままにする
- 左足でパーキングブレーキを踏んで解除してから、再度踏み込む

解除するときは

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏み、ゆっくりとはなします。
- 坂道発進するときは、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏んでおき、右足でアクセルペダルを慎重に踏み、車が動きだす感触を確認しながらパーキングブレーキペダルをゆっくりともどしてください。

▲ 注意

パーキングブレーキを解除したときは、メーター内のブレーキ警告灯が消灯しているか確認してください。万一、パーキングブレーキをかけたまま走行した場合、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

→ 3-58ページ（ブレーキ警告灯）

■ パーキングブレーキ解除忘れ警告ブザー

パーキングブレーキを解除し忘れてたまま走行すると、室内ブザーが“ピピピッ、ピピピッ”と鳴り続けます。

▲ 注意

警告ブザーが鳴ったときは、ただちに安全な場所に停車し、パーキングブレーキを解除してください。走行中の解除は、操作に気を取られて思わぬ事故を起こすおそれがあります。

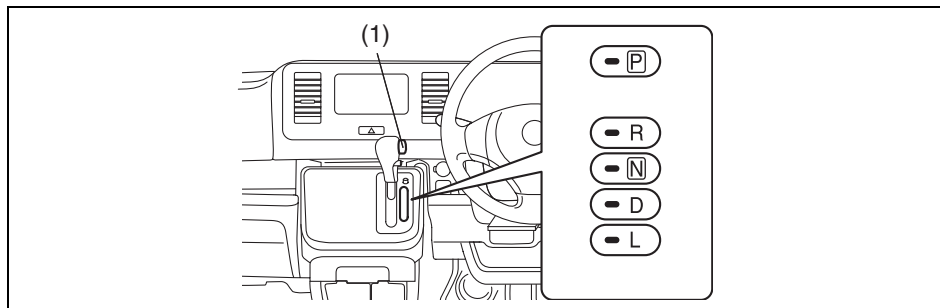
↓mアドバイス

設定の切替え（カスタマイズ）をする、と、パーキングブレーキを解除し忘れて走行しても、警告ブザーが鳴らなくなります。設定の切替えについては、日産販売会社にご相談ください。

セレクトレバーの操作

※本書で「オートマチック車」と記載されている場合、「CVT車」を示しています。

セレクトレバーの各位置のはたらき

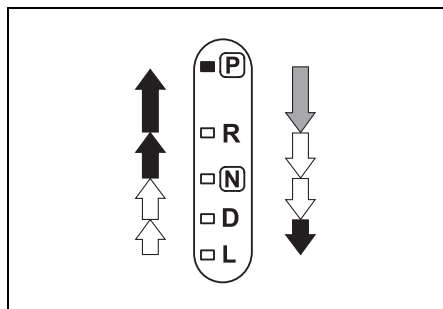


50M0076

(1) ボタン

<p>P パーキング</p>	<p>駐車するとき、エンジンを始動・停止するとき、プッシュエンジンスターター非装備車のキーを抜くときの位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 駆動輪（前輪）が固定されます。
<p>R リバース</p>	<p>車を後退させるときの位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 室内で警告ブザーが鳴り、運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。
<p>N ニュートラル</p>	<p>エンジンの動力が伝わらない状態の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エンジンを始動できますが、安全のため P の位置で始動してください。
<p>D ドライブ</p>	<p>通常走行の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 車の速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。
<p>L ロー</p>	<p>強力なエンジンプレーキを効かせるときなどの位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 急な下り坂を走行するときなどに使用します。

セレクトレバーの動かし方



70K194

4



ブレーキペダルを踏み、ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。



ボタンを押さずにセレクトレバーを動かします。



ボタンを押したままセレクトレバーを動かします。

⚠ 注意

完全に停車させてから、セレクトレバーを **R** に入れてください。車が動いていると、トランスミッションが故障する原因となります。なお、トランスミッション保護のため、前進車速が約 10km/h 以上のときは変速されません。(ニュートラルのまま)

⚠ アドバイス

↑↓ の操作は、セレクトレバーのボタンを押さない習慣をつけてください。常にボタンを押して操作していると、間違って **P** **R** **L** へ入れてしまうおそれがあります。

■ シフトロックシステム

発進するときなどに、セレクトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- エンジンスイッチが **ON** でブレーキペダルを踏んでいるときだけ、セレクトレバーを **P** から他の位置に動かせます。
- エンジンスイッチが **ACC** または **LOCK** (OFF) のときは、ブレーキペダルを踏んでいても、セレクトレバーを **P** から他の位置に動かさせません。

⚠ アドバイス

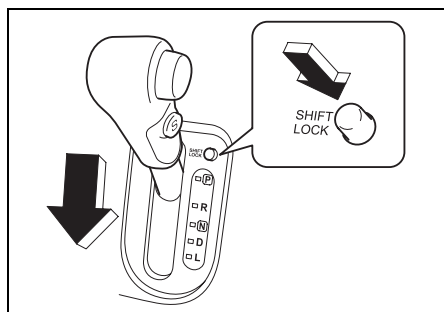
- 発進するときには、ブレーキペダルをしっかりと踏んだままセレクトレバーを操作してください。
- セレクトレバーのボタンを押してから、ブレーキペダルを踏まないでください。シフトロックが解除されないことがあります。
- 万一、エンジンスイッチを **ON** にして、ブレーキペダルを踏んでもセレクトレバーを **P** から他の位置へ動かせない場合、次の手順でシフトロックを解除してください。
この場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちに日産販売会社で点検を受けてください。

■ シフトロックの解除のしかた

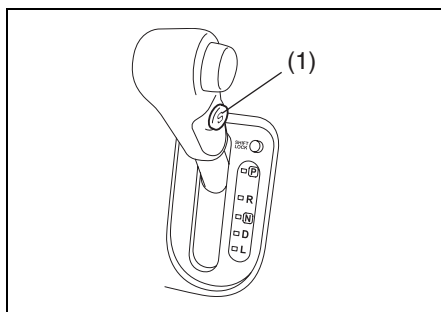
シフトロックシステムの故障やバッテリーあがりなどで、セレクトレバーを [P] から他の位置へ動かせないときは、次の手順でシフトロックを解除します。

1 安全のため、エンジンスイッチを [ACC] にしてパーキングブレーキをしっかりとかけ、ブレーキペダルを踏んだ状態にします。

2 セレクトレバーパネルにあるシフトロック解除ボタンを押しながら、セレクトレバーを操作します。



82K378



85K2054

(1) S(スポーツ)モードスイッチ

アドバイス

S (スポーツ) モードスイッチは、エンジン始動時にはOFF状態にもどります。このときS (スポーツ) モード表示は表示されません。

4

■ スイッチがONのとき

坂道や山間路の走行に適しています。

- 下り坂では、エンブレキがかかります。
- 上り坂や山間路ではエンジン回転数を高く保ち、エンジン回転の変化が少ない力強くなめらかな走行ができます。

■ スイッチがOFFのとき

通常走行に適しています。

- 燃費性能と静粛性の高い走行ができます。

S (スポーツ) モードスイッチ

- スイッチを押すごとに、ON と OFF が切り替わります。
- ON のとき、メーター内の S (スポーツ) モード表示が表示されます。

■ S (スポーツ) モード表示



50M0061

メーターパネル内にあります。

- S (スポーツ) モードスイッチがONのときに表示されます。

→ 3-57ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

4

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤチェンジから解放されて運転操作が楽になりますが、オートマチック車特有の現象や操作上の注意があります。

クリーブ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリーブ現象といいます。

▲ 注意

- セレクトレバーを **P** **N** 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリーブ現象が強くなる場合があります。とくにしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

⚠ アドバイス

CVT車もクリーブ現象があります。

キックダウン

走行中（低車速時を除く）にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的にシフトダウンしてエンジン回転が上昇して、力強い加速ができます。これをキックダウンといいます。

- 追い越しなどをしたときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

▲ 注意

通常の加速をするときは、アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。いっぱい踏み込むと、キックダウンして思わぬ急加速のおそれがあります。

登降坂変速制御

セレクトレバーが **D** の位置で作動する制御です。

- 登坂中と判断するとシフトダウンしてエンジン回転数を高く保ち、少ないアクセル操作でなめらかな走行ができます。
- 降坂中と判断するとシフトダウンし、エンジンブレーキがかかります。

キーインターロック

プッシュエンジンスタート非装備車

誤操作防止のため、次の条件をみたしているときだけキーが抜けます。これをキーインターロックといいます。

- セレクトレバーが **[P]** 位置
 - セレクトレバーのボタンから手をはなしている
- 4-12ページ

(キーを抜くときは)

オートマチック車を運転するとき

トランスミッション警告灯



80J219

メーターパネル内にあります。

- CVTのシステムに異常があると、エンジンスイッチが **[ON]** のときに点灯します。
- 3-57ページ
- (警告灯・表示灯の見かた)

[R] (リバース) ポジション警告ブザー

セレクトレバーを **[R]** に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが **[R]** に入っていることを運転者に知らせます。

アドバイス

[R] (リバース) ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

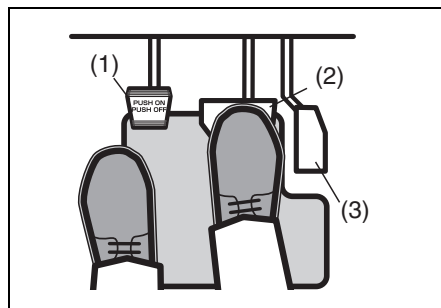
ペダルの踏み間違いに注意

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルは右足で踏む



82K004

- (1) パーキングブレーキペダル
- (2) ブレーキペダル
- (3) アクセルペダル

左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作するときは

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを **R** に入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに **R** から **N** に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

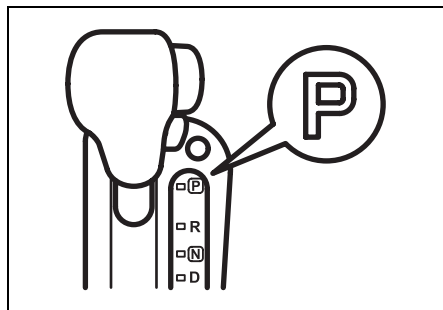
▲ 注意

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。急発進して事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの位置は目で確認

始動時や降車時は **P**、前進時は **D**、後退時は **R** にあることを目で確認してください。

車から離れるときは



82K311

▲ 注意

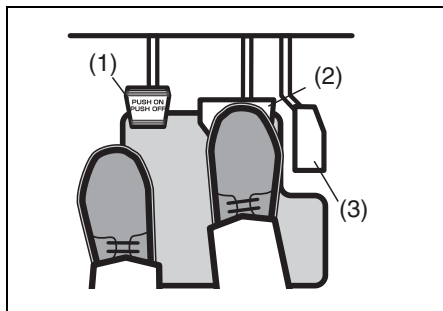
エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが **P** 以外に入っていると、車がひとりで動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。

オートマチック車の運転のしかた

4-15 ページの「セレクトレバーの操作」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

運転席にすわって

- 1 ペダルが確実に踏めて、ハンドル操作が楽に行なえる位置にシートを調節し、ハンドルを調節（タイプ別装備）します。
→ 3-26ページ（前席シート）
→ 3-25ページ（チルトステアリング）
- 2 アクセルペダル（3）とブレーキペダル（2）の位置を右足で確認します。
- 3 パーキングブレーキペダル（1）の位置を左足で確認します。

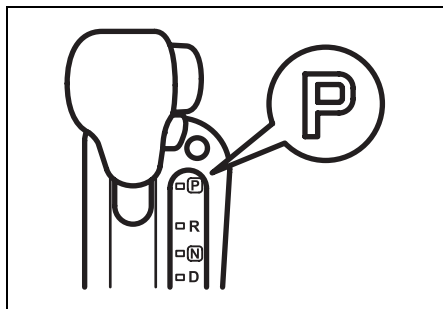


82K004

エンジンの始動

エンジンのかけかたの詳細は、4-8ページの「エンジンのかけかた」をお読みください。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 2 セレクトレバーが **P** にあるか確認します。



82K311

アドバイス

セレクトレバーが **N** の位置でもエンジンがかかりますが、安全のため **P** でエンジンをかけてください。

- 3 ブレーキペダルを右足で踏みます。
- 4 エンジンを始動します。

発進

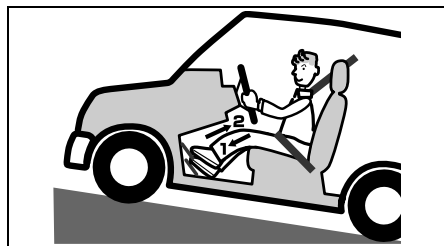
■ 通常の発進

- 1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏み込みます。
- 2 前進時は **D**、後退時は **R** にセレクトレバーを入れ、レバーの位置を目で確かめます。
- 3 パーキングブレーキを解除し、メーター内のブレーキ警告灯の消灯を確認します。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと足をはなし、アクセルペダルをゆっくり慎重に踏んで発進します。

■ 急な上り坂での発進

- 1、2 は「通常の発進」と同じ操作です。
- 3 左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏みます。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと右足をはなし、アクセルペダルを慎重に踏みます。

- 5 車が動きだす感触を確認しながら、パーキングブレーキペダルをもどして発進します。



走行

■ 通常走行

セレクトレバーを **[D]** に入れて発進すると、走行速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。

⚠ 注意

緊急時以外は、走行中にセレクトレバーを **[N]** にしないでください。エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故の原因となります。

■ 急加速走行

追い越しなどをしたいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンして力強い加速が得られます。

■ 上り坂走行

上り坂を **[D]** で走行しているときに、スピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンしてエンジンの回転が急に上がることがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめ **S** (スポーツ) モードスイッチを **ON** にしておくと、エンジン回転の変化が少ない力強くなめらかな走行ができます。

■ 下り坂走行

下り坂を **[D]** のままで走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くてスピードが出すぎてしまうことがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめ **S** (スポーツ) モードスイッチを **ON** にしてエンジンブレーキを併用します。
- 急な下り坂で、強力なエンジンブレーキが必要なときには **[L]** に入れます。

⚠ 警告

急な下り坂や長い下り坂では、エンジンブレーキを併用してください。下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

一時停止

1 セレクトレバーは走行位置のままです。停車し、ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。

- 急な坂道で一時停止するときは、必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
- 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを **[N]** に入れます。

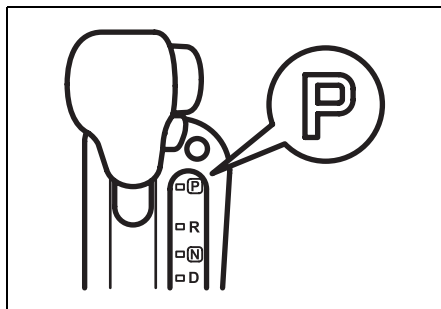
- 2 再発進するときに間違えないよう、セレクトレバーの位置とパーキングブレーキの解除を目で確かめます。

▲ 注意

- 一時停止しているときに、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが **P** **N** 以外に入っていると、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 上り坂などで、アクセルをふかしながら車を停止させないでください。トランスミッションオイルが過熱し、故障の原因となります。

駐車

- 1 車を完全に止めます。
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 3 セレクトレバーを **P** に入れてからエンジンを止め、ブレーキペダルからゆっくりと足をはなします。
- セレクトレバーが **P** の位置になっているか目で確かめます。



82K311

▲ 注意

駐車するときは、必ずセレクトレバーを **P** に入れてからエンジンを止めてください。**P** 以外の位置ではシフトロックが作動せず、誤操作などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 4 エンジンスイッチが **LOCK** (OFF) にあることを確認します。プッシュエンジンスターター非装備車はキーを抜きます。
- 4-12ページ
(キーを抜くときは)
- 4-12 ページ (エンジンスイッチをもどすときは)

アドバイス

少しの間でも車から離れるときは、エンジンスイッチを **LOCK** (OFF) にしてください。また、プッシュエンジンスターター非装備車は、キーを抜いてください。

後退

■ 正しい運転姿勢

車を後退させるときは身体をひねった運転姿勢になり、ペダルが踏みにくくなります。ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める姿勢で運転操作をしてください。

■ 前進や後退を繰り返すとき

車庫入れなどで前進や後退を繰り返すときは、完全に停車させてから、次の前進あるいは後退の操作を行なってください。

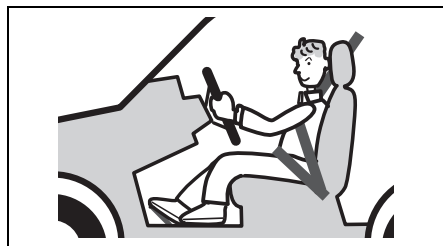
4 アドバイス

前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーを **[R]** に入れていたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐに **[R]** から **[N]** に入る習慣をつけてください。

こんなことにも気をつけて

■ 車を少し移動させるとき

少しだけ移動するときでも、ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める正しい運転姿勢をとってください。



80J014

警告

坂道などで、セレクトレバーを前進の位置 (**[D]** **[L]**) にしたまま惰性で後退したり、後退の位置 (**[R]**) にしたまま惰性で前進したりしないでください。エンストしてブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因になります。

■ 停車するとき

注意

車が少しでも動いているときは、セレクトレバーを **[P]** に入れしないでください。トランスミッションが故障する原因となります。

ABS装備車の取扱い

ABS (アンチロックブレーキシステム) とは

ブレーキをかけたときのタイヤのロックを自動的に防止することで、走行安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

警告

常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。ABS による制御には限界があります。

▲注意

ABSは、タイヤのグリップ限界を超えたり、ハイドロプレーニング現象(※)が起こったりした場合は効果を発揮できません。

※雨天の高速走行などで、タイヤと路面の間に水膜が発生し、接地力を失ってしまう現象

●急ブレーキ時には、ポンピングブレーキ(※)をせずに、ブレーキペダルを思い切り強く踏み込んでください。ポンピングブレーキをすると、制動距離が長くなります。

※ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけかた

●路面の状況によりますが、約10km/h以下ではABSが作動しません。

制動距離について

ABSは制動距離を短くするものではありません。

▲注意

●急ブレーキをかけたときや、滑りやすい路面でブレーキをかけたときの制動距離は、ABSがついていない車と同等です。

●次のようなときは、ABSのついていない車より制動距離が長くなる場合があります。スピードを控えめにし、車間距離を十分にとってください。

- 凸凹道や石だたみなどの悪路
- じゃり道、新雪路
- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
- マンホールなど鉄板の上を通過するとき
- タイヤチェーンの装着時

ABS作動時の振動や音

ブレーキペダルを強く踏むと、ブレーキペダル、ハンドル、車体の小刻みな振動を感じることがあります。これはABSの作動によるもので、異常ではありません。ブレーキペダルをそのまま強く踏み続けてください。

♪アドバイス

エンジンをかけて発進した直後に、一時的にモーター音などが聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で、異常ではありません。

タイヤについて

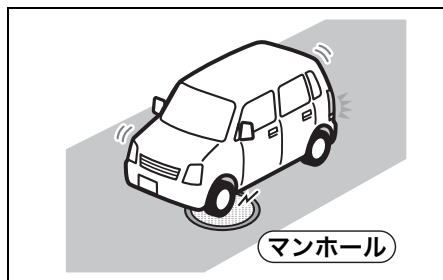
⚠ 警告

ABS は、各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン（溝模様）が同一のものを装着してください。また、著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しないでください。正確な回転速度が検出できなくなってABSが正常に機能なくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

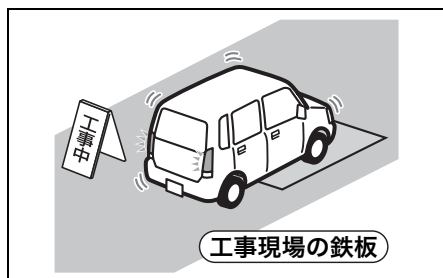
4

ABS は、こんな場合にもブレーキをかけると作動することがあります

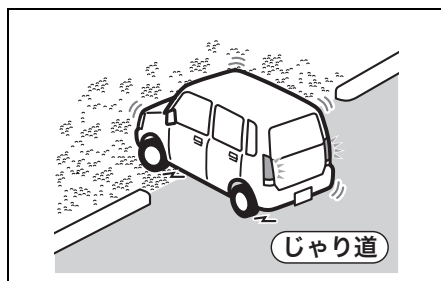
- 滑りやすい路面を走行しているとき



80J1040

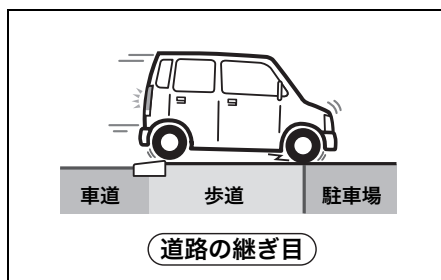


80J1041

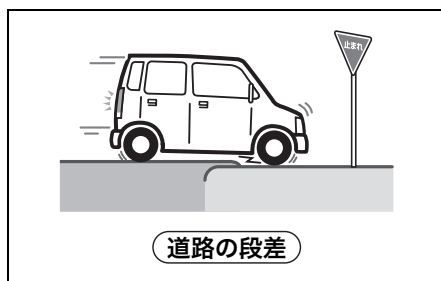


80J1361

- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき

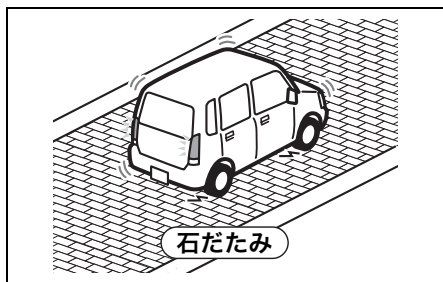
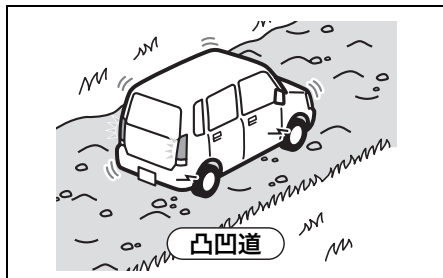


80J1043



80J1044

- 悪路を走行しているとき



ABS警告灯



メーターパネル内にあります。

- ABSの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯します。
→ 3-57ページ
(警告灯・表示灯の見かた)

タイヤ空気圧警報システム

タイプ別装備

いずれか1輪のタイヤ空気圧が大幅に低下した状態で走行を続けたときに、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点灯し、運転者へ注意を促すシステムです。

▲ 注意

- 空気圧低下の原因がパンクである場合があります。すみやかに安全な場所に停車し、タイヤを点検してください。
→ 7-2ページ
(パンクしたときは)
- 本システム装備車であっても日常点検項目である「タイヤ空気圧の点検」は必ず実施してください。
→ 2-2ページ
(タイヤの空気圧をチェック)
→ メンテナンスノート (日常点検)
- タイヤチェーンを装着したときなどには、本システムが正常に作動しない場合があります。

♪ アドバイス

このシステムは、タイヤの空気圧を直接測定して、空気圧の低下を判断するシステムではありません。空気圧が低下するとタイヤの外径寸法が小さくなるため、他のタイヤと比較して、走行中のタイヤ回転速度に差がみられます。このシステムは、その差を検出して、間接的に空気圧が低下していると判断します。そのため、停車時など走行していない間は空気圧の低下を検出できません。

タイヤ空気圧警告灯



メーターパネル内にあります。

→ 3-57ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- システムが正常で空気圧の低下が検出されていないときは、エンジンスイッチを **ON** にしたときに約2秒間点灯したあと消灯します。
- 次のような状況になると、エンジンスイッチが **ON** のときに点灯したままとなります。
 - 走行中、いずれか1輪のタイヤ空気圧が大幅に低下したと判断されたとき
 - システムに異常があるとき
- タイヤ空気圧警報システムの初期設定を行なったときは、約3秒間点滅します。

▲ 注意

前記の場合以外で、空気圧を指定空気圧に調整後、初期設定したにもかかわらず、走行中に再点灯する場合はシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ アドバイス

次のような場合はシステムが正常に作動しないため、空気圧が低下しても点灯しなかったり、空気圧が正常でも点灯したりすることがあります。

- 2輪以上のタイヤ空気圧が同時に低下したとき
- 指定空気圧でない状態で、初期設定したとき
- 4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン(溝模様)が同一のタイヤを装着していないときや、摩耗状態が著しく異なるタイヤを装着しているとき
- 指定空気圧より高い空気圧で使用しているとき
- 走行中のバースト(破裂)などにより急激に空気圧が低下し、走行不能となったとき
- 荒れた路面や、凍結路などの滑りやすい路面を走行しているとき
- 約20km/h未満および約110km/hを超える速度で走行しているとき
- 約5分未満の短時間走行のとき
- ブレーキ装置の故障で、制動灯が正常に点灯・消灯しないとき
- 4輪への荷重が著しく偏っているとき

タイヤ空気圧警報システムの初期設定が必要なとき

タイヤ空気圧の調整を行なったときは、必ず次の手順でシステムの初期設定を行なってください。また、次のようなときも、必ず空気圧の調整後、システムの初期設定を行なってください。

- タイヤまたはホイールの交換後
- タイヤのローテーション後
- メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点灯したとき
 - 2-2ページ (タイヤの空気圧をチェック)
 - 8-3ページ (タイヤ/ホイール)

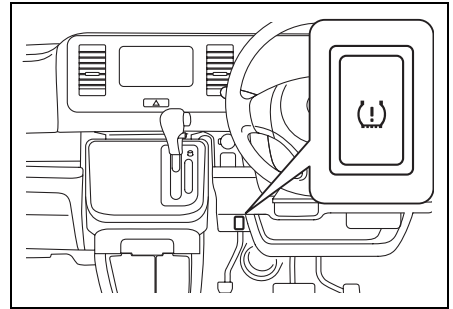
1 安全な場所に停車し、パーキングブレーキをしっかりとかけてエンジンを止めます。

2 タイヤ空気圧の調整後、エンジンをかけます。

▲ 注意

必ず4輪とも指定空気圧に調整してください。指定空気圧に調整せずに初期設定を行うと、タイヤ空気圧の正常な状態を検知できないため、システムが正常に作動しなくなる場合があります。

3 停車したままで、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点滅するまで運転席足元にあるタイヤ空気圧警報システムのリセットスイッチを押し続けます。



50M0078

▲ 注意

リセットスイッチを押し続けても、タイヤ空気圧警告灯が点滅しない、または点灯したままのときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

℥ アドバイス

走行中にリセットスイッチを押しても、初期設定されません。

4 しばらく走行すると、システムがタイヤ空気圧の正常な状態を検知し、初期設定が完了します。

▲ 注意

初期設定が完了するまでは、タイヤ空気圧の低下を警報できません。

℥ アドバイス

初期設定にかかる時間は、車速や路面状況などの条件により異なります。

MEMO

24 horizontal lines for writing.